

## ・講演



講師の木ノ下勝矢氏

阪神淡路大震災を現地の消防職員として経験され、その後、NPO 法人レスキューサポート九州を立ち上げられ、活動されている方です。大分県の防災アドバイザーとしても、県内各地で講演会を実施されています。

現場の経験に基づいた非常に内容の濃いお話の中、防災とは社会教育であるという考えの下、地域の避難所や防災拠点となる公民館で常日頃から考えておかなければならないことについてご示唆をいただきました。

参加者の皆さんは、頻発する自然災害に加え、新型コロナウイルス感染症への対処を求められるという難題に直面しており、どなたも真剣な眼差しで講演を聞いておられたのがとても印象的でした。